

# 第2次 八坂地区地域づくり計画(平成28年度～32年度)

	生活課題・現状	目指す将来像	事業・取組み	取組み予定時期			
				すぐ	早いうち	長期的	
安全安心福祉部会	医療買い物	・無医地区である ・通院するにも医療機関が遠く絶対的に不足している ・山口防府地域の医療機関情報が不足している ・地区内に生活用品店がないしスーパーも遠い ・買い物難民をなくしてほしい	通院や買物！ みんなで情報交換、 みんなで利用	・医療機関のサービス内容等くわしい情報誌の発行依頼 ・ご近所同士で声をかけ合い通院や買い物一緒に行くようにする ・移動販売や宅配弁当の利用の検討（勉強会の実施）	○	○ ○	
	交通手段の確保	・病院・買物などに交通の便が悪い ・マイカー無しでは生活できない ・交通の足の確保が必要である	みんなで気軽に利用できる仕組みづくり	・コミュニティタクシーの運営検討 ・乗合タクシー（グループタクシー）の利用促進（勉強会の実施）		○ ○	
	高齢者の生活支援	・高齢者や一人暮らしの見守りが不十分である ・高齢者の引きこもりが多い ・高齢者の生活に必要な情報がほしい ・高齢者宅の屋敷や田畠の維持が困難である ・介護や介護予防知識の認識不足している	みんなで助け合う 心豊かで安心な暮らし	・友愛訪問活動で声掛け見守り確認の充実 ・社協会食会や4地区ふれあい会の実施 ・訪問活動等でしっかり情報提供を行う ・隣近所同士で助け合い協力し合う ・とくぢ苑の日曜ふれあい会への参加促進		○ ○ ○ ○ ○	
	防災対策の充実	・高齢者や一人暮らしが多く緊急時に不安である ・地震台風土砂災害等の対応に不安である ・避難誘導や応急対応の自主防災会が確立していない	防災組織率50%以上の地区	・自主防災づくりの促進 ・自主防災づくりの研修会の実施 ・防災連絡網づくりと非難訓練の実施	○	○ ○	
	防犯対策	・悪徳商法や訪問販売が多く不安である ・防犯灯が少なく夜道が不安である	安心で明るい集落	・悪徳商法や訪問販売の手口研修会の実施 ・情報共有し近所同士で注意の声かけを ・防犯灯設置事業の推進	○ ○ ○		
	地区的環境美化	・道路沿いや河川などにゴミのポイ捨てが多い ・不法にゴミを燃やさないようにすべきである ・ペットの飼い方のマナーが悪い	みんなで意識し合う 地区内の環境美化	・モラルの問題⇒マナーを守る⇒マナーアップの啓発や常習場所には看板設置 ・チラシを班回覧で周知徹底 ・自治会や班で草刈り清掃活動を行う	○ ○ ○		
社会教育文化部会	伝統文化の継承と紹介	・地区の祭りや伝統行事がすたれつつある ・高齢化により祭りや行事の運営が困難になった ・祭りや行事に参加者が少なくなりつつある	祭りや伝統行事などの 継承で従来のように にぎわう地区	・集落活動や祭りイベントなどに 各地区で子供から親やお年寄りに声をかけ誘い合って参加を促す ・子どもの参加を促すため地域と学校の連携を図り 学校行事にも積極的に参加する	○ ○		
	イベントや交流事業の充実	・地区外からの入込客を呼べる事業が必要である ・地区外とのふれあい交流ができるイベントの開催計画がない	ふれあいと交流による 元気で活発な地区	・サッカー交流広場の積極的な利活用の検討 ・夏祭り、歩こう大会などの継続と内容充実		○ ○	
総務部会	自治会運営	・小規模化高齢化が進み集落機能の低下している ・高齢世帯が多くなり自治運営が困難である ・自治会役員の選出が困難である	みんなで支え合う 新たなコミュニティ組織	・小集落より広域自治で効率的な人材と運営 ・自治会範囲の見直し（複数の自治会を統合） ・自治会役員の任期を複数年に見直す	○ ○ ○		
	空き家の定住策	・人口減少や後継者不足で空家が多くなった ・空き家の貸家や借家人の情報がほしい	若い世代の定住で 少しでも元気に	・空き家バンク制度の周知を図り情報提供する		○	
	鳥獣被害	・猪や猿、熊の被害がある ・鳥獣被害が農作物だけでなく人に対する被害が心配である	迅速に危機回避 できる仕組み	・被害前の発見時に迅速に誰でも連絡できる対応できる仕組みづくりを検討 ・発見から通報までの連絡網づくり		○ ○	